

(前頁から)

「せがれは都会に出ちゃってこつちに帰ってこねえよ。オレの代でコメ作りは終わりだっぺさ」。



コストはかかり米価は上がり、後継者不足と高齢化。今はできるが10年後はどうなるのか。田んぼをどうするか。人手がなくなつた農家は耕作を放棄せざるを得ない状況にもなっているようです。

これからの米作り
水田経営を発展・継承していくための流れの一つが「農地の集積と法人化」です。集落の農地を集め大規模化して

効率を図るという

集落宮農

組織の設

立に向け

た動きや、すでに組織を設立した地区もあるようですが、

多くの農家は模索中のようです。

TPP問題が話題となつて

いる今、食について、特にお

米について考える機会とした

いものです。

参考文献

・ふるさとの思い出写真集

・ポプラディア情報館「米」

・ちようせい

・ポプラディア情報館「米」

稲作農家三代目

鶴岡さんに聞きました

(30代・早野在住)

家はコシヒカリを作っている兼業農家で、耕作ができなくなった人に次々と頼まれ今は手一杯。特に3~5月は忙しさのピークで、日々何も考えず体を動かすのみ。田の水入れは特に重要で、私が頑張るしかないと言夜を問わず走り回っています。

でも乗り物(農機)に乗っていけば楽しい。自分の力で景色を変えていくという感覚です。何かやれば確実に変わる。草刈だってやればきれいになる。米作りに真摯に取り組んでいる近所の人とも話が合います。精米したてのコメは特においしいですよ。自信を持っています。・・・と誇らしく話されました。



「存知です」が主催教室

茂原の歴史や文化を新発見!

東部台文化会館

昨年度から開催している

「郷土の歴史文化講座」古文

書調査からの発見」は、講師

の加藤時男先生が古文書を解

読していく中で、判明した歴

史や文化のひとつまをわかり

やすく講義してくださいませ。

(難しい古文書を読む必要は

なく、聞いているだけでわか

る講座です。)

第1回は、世界的画家藤田

嗣治が、実は九十九里浜で

デートし結ばれた妻(東金高

等女学校教師)に、パリから

ファッションや芸術のことを

書いた手紙を多数送っていた

話。2回以降は、江戸時代茂

原では庶民に俳諧(句)が盛

んだつた話、明治維新時、茂

原の有力者は積極的な勤皇派

だった話など、たくさんの驚

きと発見があり、参加者は毎

回次のテーマを楽しみにして

います。「茂原市民であるこ

とを誇りに思う」そんな気持

ちになれる講座です。

次回は1月16日

13時30分~15時です。

(電話申込可)

お問い合わせ先 ☎ 03 8711

お問い合わせ先 ☎ 03 8711



千葉県茂原町鳥瞰(ちょうかん)
(昭和4年 茂原駅周辺)

奥が深いぞ折り紙教室

本納公民館

折り紙教室は平成23年に開

講し、今年で5年目です。

折り紙はみなさん幼少の頃

にやった事があると思います。

その頃に作った折り紙と違う

のは、1枚の紙で1つの作品

が出来るのではなく、少し応

用が入り複数のパーツを組み合わせて(時には立体的に)作品にするのです。

孫と一緒に折るんだよ、入院先で習って面白かった、など受講のきっかけさまざま。

先生が優しく教えてくださり、お喋りを交えながら楽しい2時間があつという間に過ぎてしまします。

そして嬉しいのは作品が完成した時!同じ作品でも違う色の紙を組み合わせると印象

が変わるので、うーん、奥が深い!お互いの作品を見せ合うのも毎回の楽しみです。

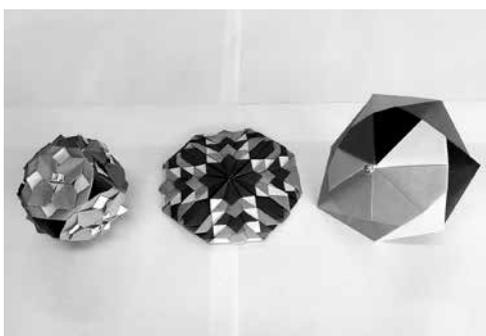
教室は11月で終わってしま

いましたが、本納公民館では

折り紙のサークルもあります。

お問い合わせ先 ☎ 03 2349

お問い合わせ先 ☎ 03 2349



出来上がりに満足戸